



アングル



第49回全日本菊花連盟全国大会
スプレー菊部門優勝
室伏 勲さん(久根)

スプレー菊は洋菊の一種です。枝分かれして多くの花をつけ、それがスプレー状に広がることからそう呼ばれます。全日本菊花連盟全国大会は全国から菊作りの名人が集まり、部門別で花の美しさや大きさなどを競います。室伏さんが同大会で優勝したのは第46回、第47回大会に続き、3回目です。

室伏さんは友人に誘われて6年前に菊作りを始めました。これまで様々な菊花大会に出品し賞を受賞しています。大会に出品する菊は1鉢に3株

植えられていて、それを2鉢出品します。しかし実際に育てる菊は約500株にもなり、その中から厳選して出品するそうです。

室伏さんは菊作りを始めてから毎日パソコンにその日の世話の内容などを記録しています。「日記をつけることでデータを蓄積することができます。それがいい菊作りに繋がります。また、菊を栽培している他の方のブログなど見て情報収集もしています」と語る室伏さん。

菊作りの苦勞を聞くと「大会に出品する菊を栽培するときは毎朝4時30分に水をあげます。夏は夜明け前に水をあげないと水が温かくなってしまい、根がダメになってしまいます。それに、スプレー菊は3株が同じ高さになければなりません。自分の出品したい菊がなかなか揃わないこともあり、苦勞します」と語ってくれました。

「菊中心で、一日のスケジュールが決まっています。それが健康に繋がっているので、菊に感謝しています」と笑顔で語る室伏さん。伊豆の国市で開催される第50回大会にも出品する予定で、入賞が期待されます。



▲全国大会に出品した菊



文化センターナビ

3月の休館日／3日(月)
10日(月)・17日(月)・24日(月)・31日(月) ☎ 993-9300

ポピュラー音楽の祭典

と き／3月22日(土) 17時～(開場▶16時30分)

ところ／大ホール

料 金／全席指定 予約券▶6,000円
当日券▶7,000円

出演者／美川憲一、
加藤登紀子、コ
ロケ、渡辺エリ、
高田利江ほか



すそのカルチャークラブ バックヤード体験レポーター

普段見られない文化センターの舞台裏を目前で体験・鑑賞し、レポートで表現して館内に展示します。

と き／3月15日(土)、16日(日)

いずれも 13時～15時30分

ところ／大ホール・楽屋など

対 象／小学生～中学生とその保護者
※小学生3年生以下は必ず保護者同伴
※未就学児は参加不可

定 員／30人(先着順)

参加費／200円



富士の裾野を彩る

富士山資料館

しんとうさいきょじょう 神道裁許状

この神道裁許状は文政2年(1819) 神祇管領長上の良長が、須山村富士浅間社祝の渡邊隼人祐源真文に対して、風折烏帽子・狩衣を着用して、神職の仕事に精励することを認めたものです。風折烏帽子は、立烏帽子の頂を筋違いに折りふせた烏帽子のことで、狩衣着用の際に用いられました。狩衣はもともと狩の際に用いられた服装ですが、後に公家の常用する略服となりました。

神祇管領長上家は、京都の吉田家のことで卜部氏の流れをくむ堂上家です。家祖の吉田兼熙は、吉田神社の社務であることにちなんで家名を吉田としました。神祇管領長上の称号を自称し、全国の神社に対する支配を広げていきました。

神道裁許状



(渡邊家文書)

渡邊隼雄肖像画



(富士山資料館蔵)